

栄町市場エコステーション  
～ひとと環境に優しい「エコマーケット」への取り組み～

栄町市場商店街振興組合

機関名	栄町市場商店街振興組合		
所在地	沖縄県那覇市安里 381 番地		
電話番号	098-886-3979		
地域概要	(1)管内人口 25 千人	(2)管内商店街数	
事業の対象となる商店街の概要	(1)商店街数 1 商店街	(2)会員数 100 商店	
	(3)空店舗率 5%	(4)大型店空き店舗数 0 店	
商店街の種類	1. 超広域型商店街 2. 広域型商店街 3. 地域型商店街 4. 近隣型商店街		

【事業名と実施年度】

平成 15 年度 活性化対策事業

エコステーション整備・運営事業

- ・空き缶の回収機を設置し、リサイクルを切り口にした商店街活性化と街づくりの実施。

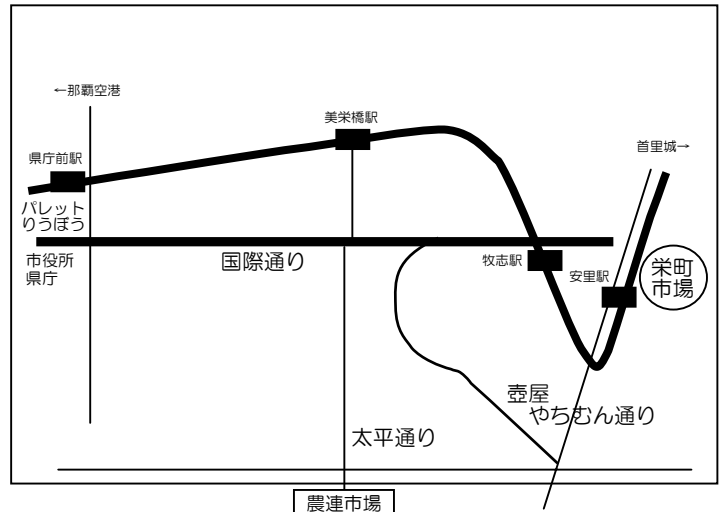
総事業費

4,044 千円

【事業実施内容】

1. 背景

栄町市場商店街は、「ひとと環境にやさしいちむぐるまちぐわー栄町市場」をキャッチフレーズに、ここ数年エコマーケット化について模索を続けてきた。平成 14 年に、3 ヶ月間生ゴミのコンポスト化機を市場アーケード内に借用設置し、市場内及び周辺住民、市場利用者の生ゴミをコンポスト化し、南風原町の有機農家に堆肥として再利用する実験を行った。



栄町市場商店街位置図

平成 14 年のエコマネー導入実験事業においては視察先として早稲田商店会を訪れ、ラッキーチケットつき空き缶回収機と同ペットボトル回収機に出会い、周辺住民が親子連れで空き缶を持って列をなし、楽しそうにゲームをし、チケットを利用している様子を見て、周辺住民との関係再構築や市場周辺美化等の観点から、エコステーション事業が有効であるとの知見を得た。視察から戻り、早速組合員に報告を行うとともに、有志により事業実現の方法を検討した結果、中小商業等活性化事業費（商店街活性化対策費）補助金を活用し、エコステーションを整備・運営することとした。

当初整備にあたっては、平成 15 年 4 月 1 日より那覇市においてペットボトルの分別回収が開始されることもあり、そのゼロエミッションへの取り組みへ寄与することも含め空き缶とペットボトル 2 台の導入を検討していたが、組合自己負担分の事業費捻出の困難さからペットボトル回収機の導入を断念し、空き缶回収機一台でのエコステーション整備とした。

## 2. 事業内容

### (1) 目的

エコステーションは、空き店舗にラッキーチケット回収機というゲーム付きの空き缶回収機を設置し、地域の物質リサイクル循環の核となる場所として位置づけるもので、本事業は、大きくは次の 3 点の効果をを得ることを目的としている。

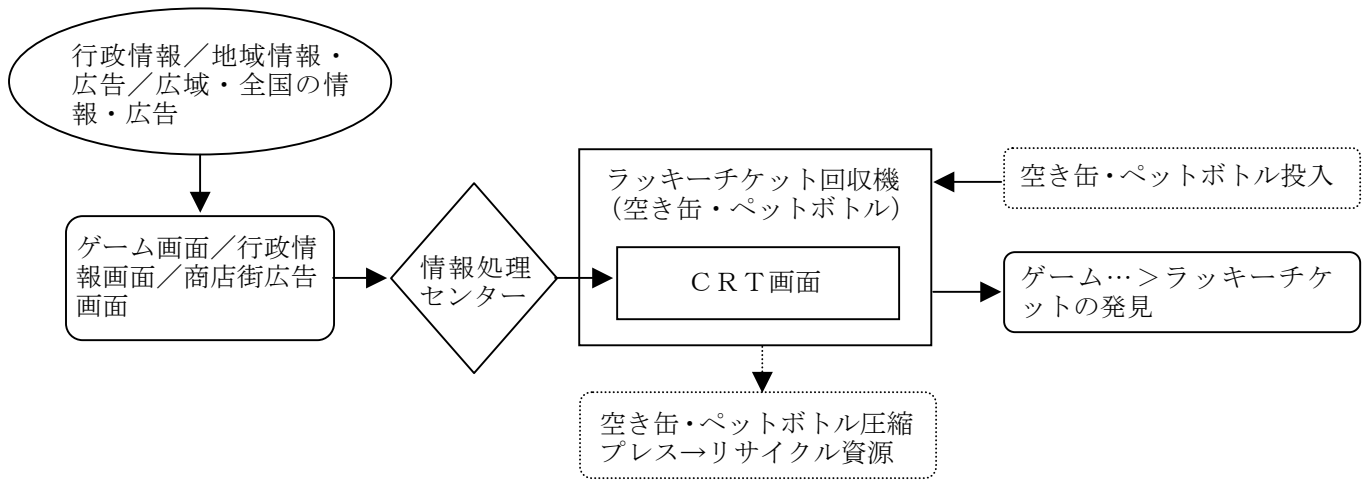
- ・環境、持続可能な社会に向けて地域の物質循環の核となる商店街、エコマーケットとしてのコンセプトの具現化のひとつとして、リサイクルを切り口にした商店街活性化とまちづくりの実施。
- ・楽しくて、お客もお店ももうかるリサイクル循環システムづくり
- ・早稲田商店会からはじまった動きが現在全国に拡がりつつあり、エコステーションを核とした商店街の相互ネットワークが形成されつつある。こうしたネットワークへの参加による他地域の他商店街との交流の活性化と、相互物産交流などの新たな商品ラインアップや魅力付加への期待。

### (2) エコステーションの概要

ラッキーチケット回収機は、空き缶を投入すると、サッカーゲームが CRT 画面で始まり、当たるとラッキーチケット（商店街、地域のお店・企業などの割引券やサービス券）が出てくる機械で、次のような特徴をもつ。

- ・ラッキーチケットには、割引サービス、おまけ、プレゼント、抽選券等様々なサービスが用意できる。
- ・ラッキーチケットには、商店街の広告、協賛店の PR 等の情報が掲載され、広告媒体としての位置づけとなる。また、当たりチケットに住所や氏名を書いていただくことで、各店舗や商店街の顧客把握資料とできる。
- ・ゲームをしていない時の CRT 画面は、パソコンの待ち受け画面と同様で、行政情報や地域情報、全国の広告などを流すことができる。

【ラッキーチケット回収機の仕組み】



(3) エコステーションの場所の選定

エコステーションの場所の選定については、次の3つの要件を中心に検討した。

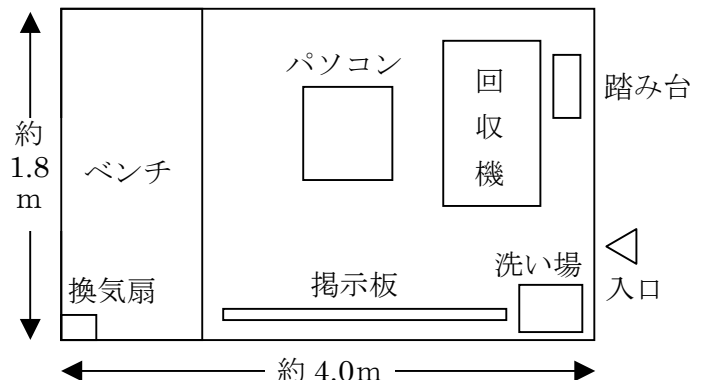
- ・風雨を避けられ、また開閉等により管理が行える場所であること。
  - ・賃料が手頃であること。（特に、初期にかかる礼金、敷金の負担ができないことを踏まえ、こういった点について了解が得られる物件を選定）
  - ・市場の中心に近いところであること。（来訪者が必ず市場の中を通ることになるため）
- こうした要件から、選定の時点で空き店舗となっていた数店舗を対象に、栄町市場のちょうど中央部にある約3坪の物件に決定した。

(4) 事業主体

栄町市場商店街振興組合

(5) 運営内容

- ①営業日時 月～土曜日（休日：日曜日） 午前9時～午後7時
- ②管理運営 栄町市場商店街振興組合エコステーション事業実行委員会が役割分担により実施（機械の日常メンテナンス/空き缶回収機の袋の入れ替え/エコステーションの清掃/チケットの更新 等）
- ③空き缶処理 回収した空き缶は、業者が毎日回収。



(6) 処理缶数の推移

月	H15/10	H15/11	H15/12	H16/1	H16/2	H16/3
缶(本数)	88	261	225	145	128	100

**【 効 果 】**

・商店街の認知度

当事業は沖縄本島では初めてのケースであり、当初は地元のテレビ、ラジオ、新聞等で取り上げられ、そのPR効果は高かった。そのため、普段の買物客だけでなく子供達や母親と子供連れ、お年寄りなども商店街に足を運ぶようになった。

**【 課 題 ・ 反 省 点 】**

1. 事業実施のノウハウ

加盟店や組合員における「エコマーケットちむぐるまちぐわー栄町」のコンセプトの理解浸透の徹底とともに、環境と人との優しいということについて目に見える具現化が必要である。

2. PR

コンセプトの具現化とともに「わかりやすい」展開により、組合員の意識の啓発と周辺住民などへのアピールを強める必要がある。

**【 事 業 の 実 施 ポ イ ン ト 】**

1. 事業資金の確保

事業は、国1/3、県1/3、そして組合の負担1/3で行っている。独自で事業を実施していく場合には、組合における資金の捻出が重要な問題である。

2. 加盟店の確保

当事業については、加盟店が多いほど消費者へのアピールが高まるとともに経費負担等運営がやりやすくなる。そのため、全組合員の30%以上の加盟が期待できるかどうかが必要である。

3. 魅力ある景品の提供

空き缶を持参した人に当たるラッキーチケットの内容において、各加盟店が魅力ある景品を提供できるかどうか重要である。

4. 運営体制の整備

単に機械を設置するだけでなく、日常の管理や運営に関わるランニングコストの負担等について、継続していける体制を整備していく必要がある。

**【 関 連 U R L 】**

うちな一むんショッピングモール “まちぐわー”

<http://www.info-okinawa.net/index2.html>